富岡地域医療企業団ニュース

Tomioka Regional Medical Authority News
- Ogenkidesuka -

お元気ですか?

第10号
2022年10月発行

「妙義山と紅葉」　撮影者：森田 紀子

CONTENTS

■ 富 コロナ・インフルエンザ感染対策 ― 免疫力 …… 2
■ 富 ― 免疫力を高める食事 …… 3
■ 富 紙上ナイトスクール☆彡 ― 歯周病について …… 4
■ 富 ― 正しい歯の磨き方 …… 5
■ 富 シルバーケアチーム発足 …… 6
■ 富 シリーズ職場紹介（総務課） …… 7
■ 七 言語聴覚士のしごと …… 8
■ 七 シリーズより良い糖尿病治療 FreeStyleリブレを導入して …… 9
■ 七 退院支援チーム …… 10
■ 七 脳卒中を取り巻く医療環境と実績 …… 11
■ 富 七 日本医療マネジメント学会群馬県支部学術集会のお知らせ …… 12

新型コロナに負けない体を作ろう
免疫力アップはフレイル防止から

内科　飯塚 邦彦

新型コロナが流行しだして3年目。マスク着用、手指消毒、ソーシャルディスタンスなどの感染対策は日常のものとなりましたが、それでもウイルスは猛威をふるい続けています。ならばコロナやインフルエンザに負けない体を作ろう!ということで、「免疫力」について、特に高齢者のフレイル対策に焦点を絞ってお話しします。

免疫とは自分（自己）と自分以外（非自己）を見分けて非自己が体内で増殖しようとしたらこれを排除する仕組みです。免疫を高めることで、非自己であるコロナやインフルエンザウイルスなどが体内で増えるのを防ぐことができます。

さて、新型コロナパンデミック第7波に直面する現在、オミクロン株はデルタ株と比べ重症者（重症肺炎）比率は少ないにもかかわらず高齢者の死亡数（絶対数）が最大になっています。これは新型コロナによる死亡の原因が変わったためと思われます。すなわち第5波以前でみられた重症肺炎が主たる死因ではなく新型コロナ感染が脱水症などを介してもともと脆弱な高齢者を多臓器不全に陥れた結果と考えられるのです。若返ることは不可能ですが高齢者に何かできることはないでしょうか?そこですぐできる防衛策として65歳以上、特に75歳以上の後期高齢者には免疫力をアップさせるためのフレイル対策が重要ではないかと思いつきました。

フレイルの要素には1．身体的衰え（筋力低下、サルコペニア）、2．認知・心理的な衰え（認知機能の低下、うつ状態）、3．社会的衰え（人とのつながりが減少、孤独）の三つがあります。これらの中で最も重要なのはサルコペニアです。サルコペニアはギリシャ語のサルコ「肉」とペニア「喪失」を組み合わせた造語で30年ぐらい前に提唱されました。当初は筋肉の減少（量）が注目されましたが今では身体活動性の低下（質や機能）も含める概念に変わっています。

筋肉の肥大はすなわち筋蛋白質の合成です。材料としては必須アミノ酸（特にロイシン）が重要で運動やホルモンがこの合成を促進します。反対に筋肉の萎縮は筋蛋白質の分解で、必須アミノ酸の不足や運動不足が原因となります。筋肉は水分の貯蔵庫の役目もありサルコペニアでは脱水症になりやすいのです。サルコペニアの原因は一時性（加齢）と二次性（低栄養、低活動、疾患）に分けられますが、アンチエイジングは難しいですね。されば二次性、中でも手っ取り早いのは低栄養対策でしょう。血液中アミノ酸が不足すると私達は筋肉を分解して補います。これを防ぐためにアミノ酸摂取、即ちたんぱく質を朝、昼、夕の食事でまんべんなく摂りましょう。目標とする摂取量は体重1kgあたり1～1．2gになります。つまり60kgの体重がサルコペニアにならないためには60g／日以上必要です。不足しやすいのは特に朝です。例えば卵が1個6gのたんぱく質なので卵3個だけでは朝食のたんぱく質としては足りないイメージです。腎臓の悪い方にはたんぱく質制限がありますが近年はかなり緩和されています。具体的な摂取量は医師に、食品や献立例は栄養士にお尋ねください。本号では栄養科担当の左ページで紹介されています。ぜひそちらをご覧ください。

今回、高齢者の食事に焦点を当て朝のたんぱく質摂取維持についてお話をしましたが、すべての世代の皆さんに言えることは、適切な食事（腹八分目でハンバーガーなどの超加工食品を避ける。）、運動、良質な睡眠と環境による心の健康を意識することが免疫力アップにつながります。最後に大事なことを忘れていました。新型コロナに対する確実な免疫力アップは皆さんが新型コロナワクチン接種を受けることです。加えて日本中の医療者が迅速な診断と早期の抗ウイルス剤投与をできるようにすることが「第7波乗り切る肝」だと思います。

免疫力を高める食事
～フレイルの視点から～

栄養科　須藤 由美

近年外出の機会が減ってしまっている方も多いようです。昔より買い物の回数が減った・しばらく友人と会っていない、など「動かないこと」により、気付かないうちにいわゆるフレイル（虚弱）の状態となっている方も多く見られます。フレイルが進むと体力や免疫力が低下し、体調も崩しやすくなる恐れがあります。

そこで、大切になるのが「食事」。人は心も体も「食べたもの」で成り立っています。今回は楽しみながら低栄養やフレイルを予防し、免疫力を高める「食事」について考えてみたいと思います。

① 1日3食 バランス良く食べる

日頃「○○に効く食べ物は何ですか?」と聞かれる事が良くあります。が、残念ながら免疫力を高める食事にも『これ』といった単独の食品はありません。食事は生きるために必要な手段であり、栄養素はチームワークで働くからです。例えば、糖質はエネルギー源に、脂質はエネルギー源と共に皮膚やホルモンの材料に、そしてたんぱく質もエネルギー源の他に筋肉や血液など体を作る材料になっています。栄養素は何か一つ欠けるとそれ本来の働きができなくなってしまい、その結果、体重減少や筋肉量低下につながって免疫力が落ちてしまいます。つまり「何か一つの食品だけを取る」というよりも、「色々な食品をきちんと必要な量食べる」という事が食事の大事な基本となるのです。

② 「たんぱく質」を プラスワン

その上で今回カギとなる栄養素が「たんぱく質」です。たんぱく質は、肉や魚・卵・大豆製品や乳製品などメインのおかずになる物に多く含まれています。免疫機能の原料でもあるのですが、特に高齢者は不足しがちです。面倒で、朝はご飯と漬物だけ・トーストだけ・菓子パンだけといった食事をされている方いませんか?たんぱく質を十分に摂取しないと、結果的に体力や筋肉量が低下し免疫機能も落ちてしまいます。

1日に摂りたいたんぱく質の目安量は、図のようになります。片手に乗るくらいの量の食品を毎食1～2品・1日5つくらいが目安です。足りてないと感じる方は、お味噌汁の具にお肉や豆腐をプラスする、トーストにチーズやハムをのせる、などできそうな事から始めましょう。長期保存が可能な魚の缶詰などを常備しておくのもおすすめです。いざという時には非常食にもなります。

ただし、食事療法が必要な疾患をお持ちの方や、それぞれの生活習慣によっても必要量や摂り方は変わってきます。気になる事や食事に対する不安があれば、お気軽にご相談ください。

引用サイト：東京都福祉保健局、ＬＩＦＵＬＬ介護

紙上ナイトスクール

新型コロナウイルス感染拡大の影響によりナイトスクールを休止していますが、予定していた講義内容の一部をお届けします。

歯周病について

歯科口腔外科　金井 秀子

ここ数年、感染対策でマスクをつけていると自分の口のニオイが気になり出したという方がいらっしゃるのではありませんか？それ、歯周病かもしれませんよ。厚労省の実態調査（平成28年）によると30代以上の3人に2人が歯周病と言われています。

口臭は歯周病の症状の一つです。歯周病菌が硫化水素（腐った卵のニオイ）やメチルメルカプタン（腐った玉ねぎのニオイ）などを大量に作り出します。この結果、口の臭いを発生させるのです。

歯周病の原因は、細菌因子（歯と歯ぐきの境界をポケットと呼びますが、ポケット周辺やポケット内の細菌、プラーク）、環境因子（喫煙、ストレス、薬物等）、宿主因子（患者さん自身の体質、全身疾患等）が関係すると考えられています。

歯ぐきからの出血も症状の一つです。歯ぐき（歯肉）に炎症が起きていると、食物や歯ブラシ程度の刺激でも歯肉から出血しやすくなります。歯周病菌が血管内に入り敗血症や感染性心内膜炎を発症することもあります。歯周病による炎症によって出てくる毒性物質が歯肉の血管から全身に入り、様々な病気を引き起こしたり悪化させる原因になります。炎症物質は血糖を下げるインスリンの働きを悪くしたり（糖尿病）、早産・低体重児出産・肥満・血管の動脈硬化（心筋梗塞・脳梗塞）にも関与しています。歯周病菌のなかには、誤嚥により気管支から肺にたどり着くものもあり、高齢者の死亡原因でもある誤嚥性肺炎の原因となっています。歯周病菌のひとつがもつジンジパインというタンパク質分解酵素はアルツハイマー病悪化の引き金を持つ可能性が示唆されています。

さらに歯周病が進むと歯がグラグラと揺れてきます。歯を支えている骨が溶けてしまうためです。全身麻酔の手術を受ける際に歯科受診をすることがあります。麻酔をする時に口に管を入れるので、揺れている歯があると術中に抜け落ちて誤飲してしまう恐れがあるため、手術前に確認して揺れている歯は抜歯する必要があるからです。また術後の歯周病菌などによる誤嚥性肺炎予防や創部の治癒不全を防ぐために手術前に歯ブラシ指導などの口腔ケアを行います。

このように歯周病は全身に関わる病気です。口もご自身の体の一部であることを認識ください。口の中も大事にしていただけると幸いです。歯周病予防・治療について気になる方は、まずはかかりつけの歯医者さんにご相談してみてください。

正しい歯の磨き方

歯科衛生士　関澤 薫子

皆さんはお口の健康にどれくらい関心がありますか？政府は全国民に毎年の歯科健診を受けてもらう「国民皆歯科健診」の導入に向けて検討する方針をまとめました。歯の健康を維持して他の病気の誘発を抑え、健康寿命を延ばすことで医療費の抑制を目指したいとしています。最近の研究で、歯周病が誤嚥性肺炎、動脈硬化、心臓病、脳卒中、糖尿病、早産、関節リウマチ、アルツハイマー病などの病気と関係があることがわかってきました。健康寿命を延ばし、お口の健康を維持するためには毎日のブラッシングがとても大切になります。「自分ってどう磨いてたっけ？」と一度自分のセルフケア方法を振り返ってみて下さい。

【1】歯ブラシ

歯ブラシ選びは磨き残しを左右するほど重要です。一人ひとり歯並びが違えば、口腔内の環境も違うので自分に合った歯ブラシを選択することが大切です。迷った時は、私たち専門職にご相談下さい。

☝オススメはシンプルが一番！ナイロン毛でコンパクトヘッドのストレートネックの歯ブラシです。

【2】歯ブラシの持ち方

大きく分けて、鉛筆を持つように握って持つ「ペングリップ」と、手のひらで握るように持つ「パームグリップ」の2つがあります。磨く部位に合わせて、磨きやすい方法で持って下さい。どちらの持ち方も歯ブラシをギュッと強く握らずに軽く持つことが大切です。ただし、力が入り過ぎてしまう方はペングリップをお勧めします。

【3】歯磨きの方法

歯磨きには「毛先の当て方」「力加減」「動かし方」の3つのポイントがあります。

・毛先を歯面（歯と歯肉の境目、歯と歯の間、噛み合わせの面）にきちんと当てます。
・150～200gの軽い力（毛先が広がらない程度）で磨きます。
・左右小刻み（5～10mmの幅を目安）に動かします。1か所を20～30回磨きます。
大きく動かし過ぎないように1～2本ずつ丁寧に磨きます。

私は食いしん坊なので生涯自分の歯で何でも美味しく食べていたいと常に思っています。患者さんには1日3回3分以上のブラッシングをして下さい。と伝えていますが、理想通りにはいかない日だってあります。毎日3回歯を磨く時間がとれなければ、寝る前に9分間みっちり磨けばキレイになります。就寝中は、唾液の分泌が少ないため細菌が繁殖しやすいので就寝前には時間をかけて念入りに磨くことが重要です。『たかが歯磨き　されど歯磨き』皆さんも今日から一緒に正しい歯磨きしてみませんか？

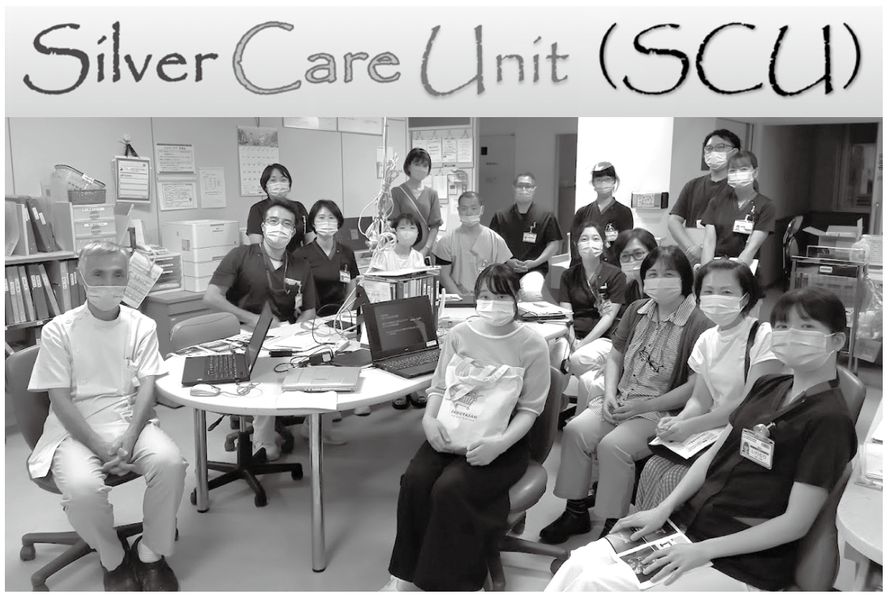
シルバーケアユニット（Silver Care Unit:SCU）・シルバーケアチーム（Silver Care Team:SCT）の発足

がん看護専門看護師　小池 瞬

皆さんは「シルバー」というとどのようなことを思い浮かべますか？シルバーシート、シルバー料金など、高齢者を意味する言葉として多く使われていると思います。シルバーを高齢者と表現するのは日本だけですが、実はシルバーに何歳からという明確な定義はありません。WHOの定義では、65歳以上の人のことを高齢者としていますが、ここで扱う「シルバーケア」とは高齢者へのケアを意味しています。ではなぜ当院で「シルバーケア」という概念が生まれたのでしょう？

内閣府の発表では、令和元年時点において、65歳以上人口の総人口に占める割合（高齢化率）は28.4%といわれています。総人口が減少する中で65歳以上の人が増加することにより高齢化率は上昇を続け、令和18年には33.3%で3人に1人と推計されています。一方、富岡市に目を向けると、令和2年時点で34.1%といわれており、日本全体と比較すると、日本の15年以上先をいっている状況といえます。日本の高齢化は世界の最前線ですから、富岡市はさらに最前線を突き進んでいるわけです。また、日本における65歳以上の認知症の人の数は2025年には約700万人（高齢者の約5人に1人）が認知症になると予測されています。認知症に限ったことではないのですが、認知機能の衰えと共に自らの意思表示が難しくなってしまうことがあります。

病院は医療を提供する場ですが、医療ばかりに力が注がれると、患者さんが望まない姿になることがあります。例えば、回復の見込みが乏しいにもかかわらず、管につながれた状態で延命することなどです。本人の意思は置いてきぼりで、周囲がすべてを決定し、本人の意向がないがしろにされてしまうことがあります。個人による差こそあれ、年齢を重ねていくということは人生の締めくくりが近づいてくるわけです。多くの人は苦痛がないようにしてほしい、惨めな姿で生きたくはないと考えていると思います。SCUとは、シルバーケアに特化した病棟であり、SCTとは、入院患者に限らず、外来や地域での活動も行う専門的チームです。これまでの人生をどのように生きてきたか、残された時間をどう過ごしたいか？シルバーケアとは、本人の意思を尊重することが大前提であり、それぞれの生活に目を向け、その人らしく生きていくために最善な方法を考えるという究極の個別ケアなのです。



シリーズ職場紹介

総務課

総務課ってどんなところ？と、よく聞かれます。総務課で働いている人は事務職員なのですが、病院の事務職員というと、すぐに思い浮かぶのは窓口にいる職員だと思います。

しかし、ご存じのように病院は、医師・看護師だけでなく、様々な職種の人が働いています。治療はもちろんですが様々な検査を行ったり、お薬の相談をしたり、色々な専門資格を持つ人が集まって一つの病院として機能しています。事務職員だけでも診療費の請求や医療・介護に関する相談窓口、物品の購入、建物の維持管理など様々です。総務課はというと、そういった色々な人が働く病院が滞りなく機能していくためのソフト面を担う部署と言えるかもしれません。具体的には、庶務係・職員係・経営戦略係という3つの係で構成されています。

庶務係では主に文書の取り扱いや議会事務局業務、条例や規則などの文書法規に関すること、災害が起こった場合の対策本部の補助、各種拠点病院としての事務局や医師臨床研修病院として初期・後期研修医の窓口を担当しています。また、院内にある売店の管理や敷地内保育所の管理も行っています。その他にも職員の福利厚生の一環として、職員共済会の事務局を担当しています。職員共済会は職員から掛け金を集め、職員同士の親睦を深めたり健康増進を図ったりする各種行事や職員向け共済会報の発行を行っています。新型コロナウイルスが流行してからはなかなか活動できませんが、この病院に勤めて良かった、と思ってもらえるようなイベントを企画立案しています。

職員係では職員採用など職員の人事全般や給与の支払い、社会保険の手続きなどを担当しています。また、職員の予防接種や検診、公務災害の手続き、職場環境巡視や職員のストレスチェック、今後必要となる働き方改革の推進も職員係の仕事です。

経営戦略係は、より良い病院となるためにこれからの経営方針や中長期計画を策定したり、新規プロジェクトの進捗管理をしています。また、経理担当として病院におけるお金の流れを管理する業務も担っています。医療に使う機器は高額なものがほとんどなので、高額機器を導入する際の資金調達や資産運用なども行っています。

これからも、富岡地域医療企業団として、地域の医療を守っていけるよう、職員が働きやすい環境を整備し、病院がこれからも健全経営を続け、住民のみなさんが安心して暮らせるよう、頑張っていきます。

Nanokaichi Hospital News
七日市病院ニュース
Nanokaichi Hospital News

仕事紹介
Job introduction

リハビリテーション技術科の紹介

言語聴覚士のしごと

一般病棟外来リハビリ係　齊藤 祐美

言語聴覚士は「言語機能、聴覚機能に障害のある人を支援する専門職」です。支援の主な内容は、障害を調べて評価し、それにあった訓練や指導、その他の援助です。「そんな仕事初めて知った…」という方もいらっしゃると思います。それは、言語聴覚障害が「見えにくい」「気づかれにくい」ということにあります。言語聴覚士がリハビリの対象としているのは、ことばの障害、きこえの障害、発音の障害などがあります。また、摂食嚥下の障害、認知症や注意障害、記憶障害などの高次脳機能障害にも対応します。

当院の言語聴覚士は、一般病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟で業務しています。言語機能をつかさどる脳の領域が損傷されることで起こる失語症や肺、声帯、舌、軟口蓋、唇などの発声発語器官の運動障害による構音障害などのコミュニケーション障害の評価と指導を行っています。食べ物が口からこぼれる、かめない、うまく飲み込めない、むせるなどの摂食嚥下障害の方には、必要に応じて、嚥下内視鏡検査も実施し、安全に食事がとれるよう、食べる時の姿勢や介助方法などを指導しています。医師、看護師、栄養士、リハビリテーションスタッフなどが一丸となって取り組んでいます。

シリーズ
より良い
糖尿病治療

FreeStyleリブレを導入して

群馬県糖尿病療養指導士
看護マネジャー　久保 知恵子

食欲の秋となりましたが、皆様いかがお過ごしですか？

私たちも日々食べ過ぎないよう気をつけながら生活しています。糖尿病の基本は食事と運動です。そして何より糖尿病の合併症予防のためには、良好な血糖コントロールが必要です。日々の生活の中で血糖変動を抑えることが必要となります。インスリン治療を行っている患者さんは医師の指示に基づいて、血糖自己測定器を用いて指先を専用の針で穿刺して血糖を測定していると思います。近年、FreeStyleリブレシステムが導入され針を使用せず血糖測定が行えるようになりました。このリブレシステムは専用のセンサーを身体に装着して、24時間・14日間、服の上からでも血糖を測定することができます。1日の中での血糖変動を知ることができるので、お薬の効果や食事との関係、運動の効果、睡眠中の血糖の変動などがわかります。

今回は当院で導入されているリブレシステムの実際についてお話しします。当院でも現在5名の患者様がリブレシステムを導入されています。このリブレシステムは身体の皮膚にセンサーを装着すると2週間つけたままで、常時血糖測定が可能です。当院の外来でもシステム導入前に看護師2名がトライしました。上腕の内側に白い500円玉程度のプラスチック製の円盤で中央に小さな針がついています。装着時少し痛いかなと思いましたが、カチッと音がする程度で痛みはほとんど感じませんでした。日常生活に支障もなく、お風呂やシャワーも普段と同じ様に入れました。寝ている間に外れてしまわないか不安はありましたが、全く外れることは無く2週間装着して過ごせました。

1番ビックリしたことは昼食後にチョコレートを2粒食べて血糖値を測定したところ386と上昇したことです。数字が気になり普段より余計に歩き2時間後には数値が正常に戻っていました。つい食べ過ぎた!!と思ったときに、その場で血糖値を測定することができとても血糖コントロールの目安になる心強い味方だなと思いました。

このリブレシステムは糖尿病患者全員に装着できる訳ではありませんが、インスリン自己注射を行っている患者様や1型糖尿病の患者様でこのシステムが気になる患者様がいましたら医師や看護師にご相談ください。

FreeStyleリブレ-アボット糖尿病関連製品サイトより引用
https://www.myfreestyle.jp/hcp/products/freestyle-libre/overview.html

チーム活動

退院指導パンフレットを利用した退院支援

療養指導通りに自分で生活を続けるのは大変ですよね。手技を覚えるのはもちろんのこと、時間を管理しなくてはなりませんし、医療機器を使う場合は熟知して操作する必要があります。何よりこれらを生活の中で習慣化できないと続かないのです。

そのため、病院ではなるべく退院後の生活を意識した指導で、その後の生活が安定するように取組んでいます。

特に指導が多い、気管内・口腔内の吸引や胃ろう、尿道留置カテーテルの管理をまとめたパンフレットを作成しました。ここには、目的はもちろんのこと、必要物品や手順、注意事項などが写真入りでわかりやすく記載しています。入院中に患者さんやご家族にパンフレットを見ながら指導し、退院までに知識や技術が習得できるよう援助しています。

対象者には、高齢の方も多く、パンフレットがあることで、見やすくわかりやすいというご意見をいただいています。入院中だけでなく、自宅でケアが必要となった場合にも、訪問看護師がパンフレットを使用して指導を行うこともあります。それにより、患者さんやご家族が安心して在宅生活を送れることにつながっていると思います。

退院支援チームは、患者さんやご家族が退院後も住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、これからも活動していきます。

脳卒中を取り巻く医療環境と実績

患者支援サービス課　患者支援係　係長
医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）
佐俣 雅和

脳卒中は脳の血管が詰まったり破れたりして、脳に障害をもたらす病気です。65歳以上の主な死因※1では、悪性新生物（がん）、心疾患に次いで脳卒中が第3位でした。後遺症を示した介護保険制度のいわゆる要介護状態の原因※2においても第2位になっていて、この病気が身体に大きな影響を及ぼすことがわかります。

もちろん何も手立てがないわけではありません。早期に治療とリハビリを開始すれば、後遺症が軽く済むことがわかっています。しかし、治療には特殊な機材や高度な医療技術が必要で担える病院が限られていることから、救急車で地域外へ搬送されることもあります。ただ、急性期治療さえ終われば、地元の病院に移れます。リハビリに期待がもてるならリハビリ単位数が多く環境も整っている回復期リハビリテーション病院への転院が理想的です。

このように脳卒中の治療は地域外へ出たり、機能が違う病院に移ったり戸惑うことも多いと思いますが、私たち医療従事者は急性期病院から在宅まで途切れることのない連携を維持することで、皆さんに安心を提供したいと考えています。

その取り組みのひとつに、脳卒中医療連携の会があります。ここでは、加盟する県内の急性期病院と回復期リハビリテーション病院が定期的に実績を発表し知恵を出し合い、より上手くいく連携方法を研究しています。

下のグラフはこの会で発表された当院の実績で、急性期病院から受入れた総件数と重症度別の内訳です。富岡地域にある病院はいずれも機能の棲み分けができていて、その地域性から得られた結果ではありますが、当院が脳卒中の患者さんを積極的に受け入れていることをお示しできれば幸いです。

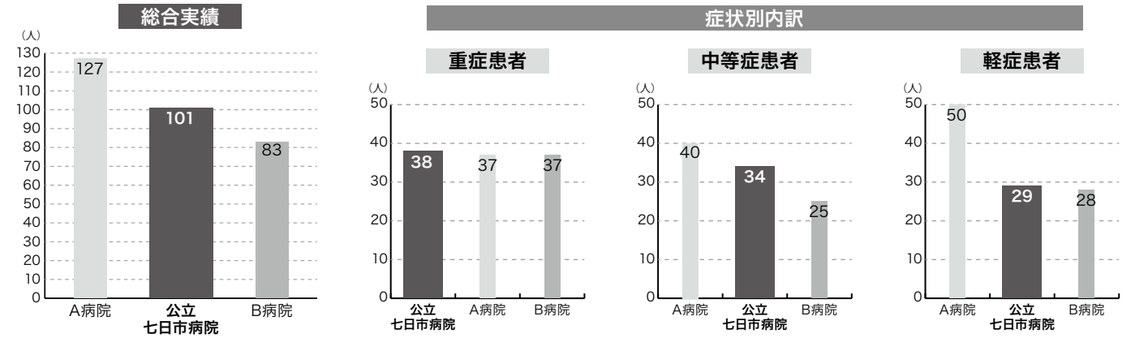
急性期治療が終わった後は特段の理由がない限りは、地元でリハビリを継続することをお勧めします。なぜなら地元の病院は周辺にある社会資源に精通しているのでよりご本人に適した支援ができるからです。

地元だからこその強みを活かし、富岡地域の患者さんがいつでも住み慣れた家に戻れるよう、これからも連携に力を注ぎます。

勿論のこと、地域外の患者さんへも全力を尽くすことを申し添えます。

※1 厚生労働省　人口動態統計　65歳以上の死因　2020年
※2 厚生労働省　国民生活基礎調査　2019年
現在の要介護度別にみた介護が必要となった主な原因について

県内の回復期リハビリテーション病院における脳卒中患者受け入れ実績（2021年度）



第10回 日本医療マネジメント学会 群馬県支部学術集会

The10th Annual Meeting of
Japan Society Health Care Management Gunma branch

地域共生社会へ向けて
～新しい街づくりのために～

学術集会ホームページ随時更新中！
演題登録の詳細もこちらから
https://www.tomioka-hosp.jp/jhm2023/

開　催　2023年 1月29日 日

形　式　Web開催　基調講演・協賛セミナー・一般演題（感染対策/医療安全/救急・災害/患者サービス/経営・管理/連携/リハビリ/訪問看護）

基調講演　前橋版CCRC（生涯活躍のまち）の取り組みについて

前橋市 都市計画部市街地整備課 CCRC・計画推進室　纐纈正樹氏
NPO法人三和会　理事長　三俣和哉氏

写真提供：富岡市

■ 会長　宮崎 増美（富岡地域医療企業団 公立富岡総合病院 院長）
■ 主催　日本医療マネジメント学会　■ 共催　富岡地域医療企業団
■ 後援　群馬県　富岡市　富岡市甘楽郡医師会　富岡甘楽歯科医師会　富岡甘楽広域消防本部　群馬県医師会　群馬県歯科医師会　群馬県看護協会　群馬県訪問看護ステーション連絡協議会　群馬県医療ソーシャルワーカー協会　群馬県栄養士会　群馬県言語聴覚士会　群馬県作業療法士会　群馬県理学療法士協会　群馬県社会福祉協議会　群馬県診療放射線技師会　群馬県病院薬剤師会　群馬県薬剤師会　群馬県臨床検査技師会　群馬県臨床工学技士会　群馬県介護支援専門員協会　群馬県老人保健施設協会　上毛新聞社

学術集会参加費　日本医療マネジメント学会
会員 1,000円　非会員 1,500円

事務局
富岡地域医療企業団 公立富岡総合病院 事務部患者支援サービス課 患者支援係
〒370－2393 群馬県富岡市富岡2073番地1　TEL:0274-63-2111　FAX:0274-64-1406
学術集会HP https://www.tomioka-hosp.jp/jhm2023/　E-mail: jhm2023@tomiokahosp.jp